

与謝野町公共施設白書

施設カテゴリー編



多目的広場

6 多目的広場

その1 施設の概要

多目的広場は、町民のみなさんに様々な形でご利用いただいている町有の広場です。

多目的広場としてここで取り上げますのは以下のとおりです。

【多目的広場一覧】

施設名	所在地	面積 (㎡)		建築年	運営形態
		敷地	延床		
幾地コミュニティ広場	幾地1720番地	11,097.0㎡	-	H9	指定管理
いきいきふれあい広場	加悦地内	3,740.0㎡	-	H7	直営
		14,837.0㎡			

※幾地コミュニティ広場の指定管理先は幾地区です。

【施設位置図】



① いきいきふれあい広場

加悦地域公民館の向かい側にあるアスファルト舗装された広場です。駐車場のほか、地元区の夏祭りの会場などにも利用されています。



② 幾地コミュニティ広場

豊かな住環境の整備と地域コミュニティの向上を図り、住民の主体的なふるさとづくりを支援するため設置されています。（通称：さんさんパーク）
地元幾地区が指定管理者として管理・運営を行っています。



その2 施設の物理的状況

① 老朽化の状況

耐用年数などのデータがないので、お示しできる情報はありません。

② 設備の状況

幾地コミュニティ広場はイベントのできる広場や遊具などがあります。一方いきいきふれあい広場は駐車場のよ
うな形態になっています。

【多目的広場設備一覧】

施設名	設備の状況				
	運動設備	遊具	トイレ	その他	備考
幾地コミュニティ広場	グラウンド (照明あり)	複合遊具、ブラン コ、ロープウェー、バ スケットゴール等	○	四阿	集会所あり
いきいきふれあい広場	-	-	-	パーゴラ	

③ 防災の状況

幾地コミュニティ広場が避難所指定されていますが土石流の警戒区域内でもあります。いきいきふれあい広
場は浸水区域内にあります。

【その他集会施設防災状況】

施設名	避難所指定		警戒区域の指定		
	水害	地震	浸水想定区域	土砂災害（特別）警戒区域	
				急傾斜地の崩壊	土石流
幾地コミュニティ広場	○	○	-	-	警戒区域内
いきいきふれあい広場	-	-	0.5～3m未満	-	-

その3 施設の利用状況

幾地コミュニティ広場は、遊具の設置された芝生広場やグラウンド等を備えています。主に地域住民に利用されており、地元地区の夏祭りなども開催されています。

また、いきいきふれあい広場は、敷地の大部分がアスファルト舗装をされており、隣接する加悦地域公民館や図書館加悦分室の駐車場として利用されています。駐車場としての利用以外にも、地元地区の夏祭りに利用されています。

その4 コスト状況

① 管理・運営コスト

管理・運営面での年間コストは以下のとおりです。幾地コミュニティ広場のコストは「その他集会施設」の幾地コミュニティ広場集会所のコストに含まれています。

【多目的広場施設管理・運営コスト一覧】 (単位：千円)

項目	幾地コミュニティ 広場	いきいきふれあい広場
賃金		0
光熱水費・燃料費		30
通信料・手数料		0
使用料・賃借料		250
消耗品費	コストは幾地コミュ ニティセンターに包 含されています	0
備品購入費		0
賄・医薬材料費		0
修繕・維持補修費		0
委託料		120
指定管理料		0
その他		0
合計		400

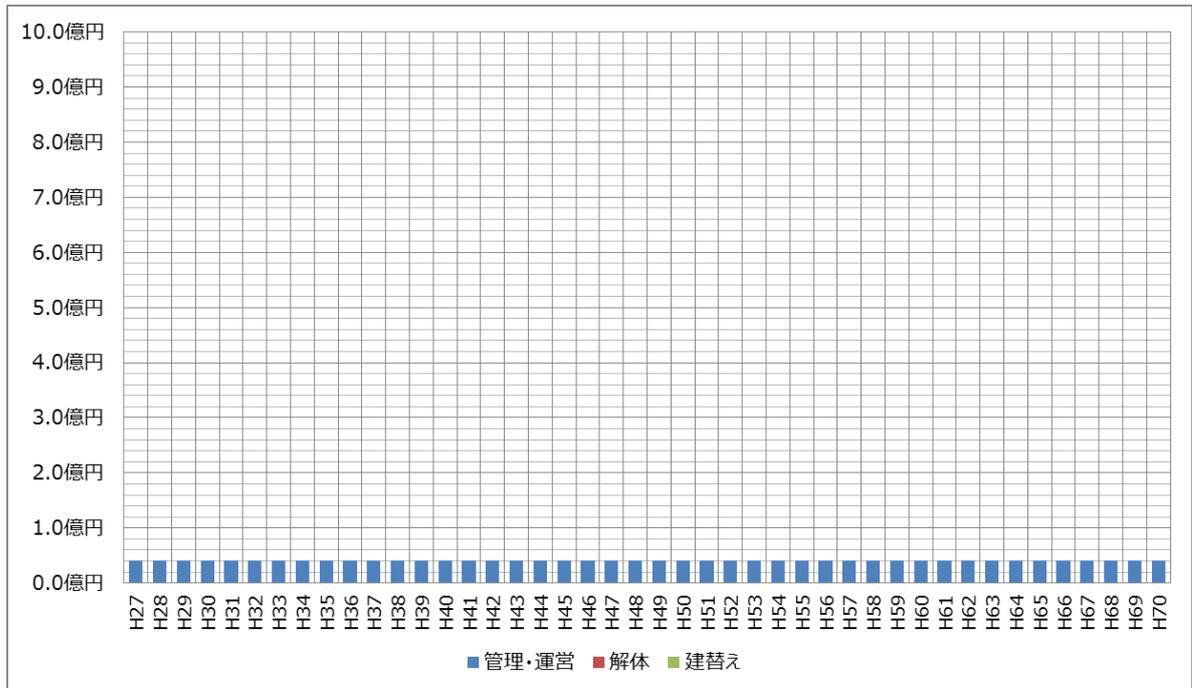
※金額は平成25年度の実績額です。

※いきいきふれあい広場の「使用料・賃借料」については、土地の借料になります。また、「委託料」については、広場周辺の樹木管理委託料です。

② 整備コスト（建替え・解体コスト）

基本的に多目的広場を作り直すということは想定していません。管理・運営コスト（平成 25 年度実績をベースに横置き）の推移は以下のとおりです。

【多目的広場施設将来コスト推移表】



コスト総額約 0.18 億円（整備費 0 億円、解体費 0 億円、管理費 0.18 億円）

その5 まとめ

1 現状・課題

●利用状況

地域のみなさんの憩いの場、交流の場として活用されています。

●建物状況

幾地コミュニティ広場には幾地コミュニティ広場集会所がありますが、こちらは「その他集会施設」で説明しています。

●防災状況

幾地コミュニティ広場が避難所指定されていますが土石流の警戒区域内でもあります。いきいきふれあい広場は浸水区域内にあります。

●コスト状況

管理・運営コストについては、幾地コミュニティ広場は別カテゴリーの幾地コミュニティ広場集会所に含まれていますので、いきいきふれあい広場のみお示ししています。主に土地の借料と広場周辺の樹木管理委託料がかかっており年間 40 万円ほどです。

●現状のまとめと今後の展望

多目的広場は現状どおり管理・運営していくことになると考えられます。